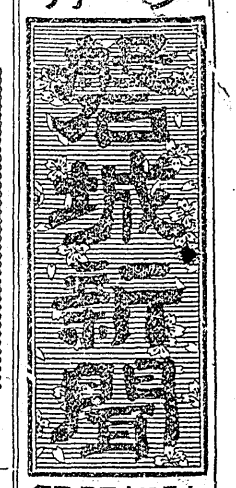
夕刊
十月二十三日（日曜）發行
定價 月金五拾錢 郵税共金六拾錢
廣告料金 一段組 一行 金六拾錢 二段組 一行 金壹圓
發行人 木村 忠
印刷人 磐城新聞社
印刷所 磐城新聞社
磐城出版警察會
昭和四年十月十六日第三種郵便物認可
磐城郵便局第二種
磐城市平町十六番地
電話 平二〇〇番
（日曜祭日翌日休刊）



弱き女性の叫び

丹野星子

世の中のあらゆる女をにくみたくなる、之の心が嫉妬か否かはわからない。

而し妻ある男に戀して極力女の不利になる樣な事を男に云ひ、男の心をとらへやうとする女を我れならずとも妻なる者にくまずには居られないだらうと思ふ、而し自分は敗け惜しみ強い女だ、夫の前に一口だつて嫉妬がましい事はおろか未練がましい事は一度だつて云つた事がない、而し此の腹立だしい憎惡にあふれて居る心を誰に打あけん術さい知らぬ自分だ。

×

大体男は貞操を如何に考へて居るか自分は男性に聞いて見たい。

男は初めて女性に會つた時バージンか否かと云ふ事に興味を引かれるらしい。そして男は女性の貞操觀念を要求し（自分の童貞非童貞を問はず）バージンたる事を要求する。

甚しいのになると若し女がバージンでなき場合は女の資格がない等と云ふ男性も少くない樣だ。

何故に女性のみが貞操を護り男性は貞操の必要なしとは、其處に些かの矛盾が存在する故に男性に貞操觀念なき場合は女性も亦貞操觀念の必要なしと云へば社會風紀上にセンセイションを起さざるを得ない。そうなつては人間もおしまひだ故に俺達女性は男性に對し貞操を強要するものである

×

大体之のブルジョア社會衰のドン底に陷れそれで男の生んだ公娼私娼たるもの子として屑とするか？

世の夫持つ多くの妻よ、爲に如何に多くの女性が苦を旅廢す可きである、之の何故に女は夫の奴隷になつしめられ、生き乍らに地獄にある如き生活を日々續けて居なければならぬか、そして彼女等はブルジョアの野獣の如き彼女等に肉体を弄ばれ肉体を賣つて得た金は大半は主人公に搾取され剩え自分迄も束縛されて居るではないか彼女等はプロレタリヤなるが故に肉体迄も賣らねばならぬのだ、それをプチブル的な主人公達が種々なる口實のもとに搾取して居るのだ、而し力弱き彼女等はそれに對する不平不滿を親しき友或は心安き人々に洩らす位が關の山だ其搾取に對する手段も知らない、そして泣く〳〵男達の機嫌を取らねばならぬのだ。

故に生活のドン底に泣く

で、夫の云ふがまゝなすがまゝにして居らねばならぬか？　そこに何等かの大なる矛盾が有るのに氣付いたであらう。然らば如何にせば其矛盾が撤廢されるかに就ては危險視さるるを恐れる故明記するを止めにしたよろしく熟考する必要が有らうと思ふ。

妻持つ多くの夫よ、深き感念を養つてもらひたい。

一九三二年、一〇、九日

山栗（童謡詩）

根岸正穂

山の峽の
栗の木に
子供はのぼつて
栗落し
熟くれた栗は
峽の底
いがつきくりは
草の中
いがくりむけば
日が沈む

自由律の感情

友常幸一　B

○藤棚に蛙がぎよ〳〵ないてあたまにこびりついた生活は私をいら〳〵させるばかり

○季節は風とゝもにうごく、つぶ〳〵した桑の芽に食慾をそゝるもの

○さつそうとした槻の若葉に春は私と無關心にうごいてくる

○ひやう〳〵と空にたよいでゐる若葉、槻の木に亢奮を感じてゐる私

十五夜月見

吉川信雄

鈴虫　まつ虫
鳴く音は
母樣便りの
あるかしら
兄樣れいさま
虫取りに
お山に出かけて
行きました
寄いすゝきに
月が出た
今晩　十五夜
お月みさま

時代警語

（○禮は其の奢らんよりは寧ろ儉なれ……（論語）

禮のもとは心である、されば徒に儀式をはなやかにして禮を厚ふせりと思ふは却つて大なる了簡違ひである。要は恭謙にして節儀を盡せば足るのである……

拈華微笑

◇石炭の需要增加　愈々恒久的らしい。妖雲散じて天日を仰ぐの概

◇塗炭の困みが送炭の歡びに變化　そこへ石炭液化ボーナスも出や　の利用厚生と來

◇あす愈々入山で　スポーツ豪華版展開。天公情あらば雨らす弗れ……○……

〔社會の今日〕

○

藤の實や秋の物縫ふ茶屋女　淡路女

日影寒く出町の柳うらがれて、時雨に濡れるきたやまの女　青山霞村

童話　可愛相な熊の子（上）

磯上六花作

『ゴーン〳〵』

靜かな秋の夕暮です。村の御寺の坊さんが打つ鐘の音が枯葉の一二枚殘つた木々の間を輕く縫つて寂しく聞えて來ます。

夕燒小燒で日が來れて山の御寺の鐘がなる

お手々つないで皆歸ろ

鳥と一緒に歸りませう

向ふの河端でつい先迄遊び戯れてゐた村の小供達が仲よく手をつないで足の調子も面白くお家へ歸つて行きます。山のふもとの藁屋の軒に吊してある干柿が夕陽に映えて金の玉の樣に輝きます。寂しい此の一ヶ村は今黑い黑い幕で俺はれ樣としてゐます。空には夕陽が赤く冴えてゐます。

『お母さん、お母さん何故ッ』

にこんな姿になつたのです

お母さん何故坊やも一緒に連れて行かなかつたのです！』

これは山の中腹での事です、悲しい〳〵こんな聲が何處からか漏れて來ました今日何も獲物を取り得なかつた獵師は此の思はぬ獲物を得たので喜びに滿々てゐました。『お母さん』それは小さな〳〵ほんとうに小さな一匹の子熊でした、二人の獵師はこの小供の熊のお母さんを殺して終つたのです、

『お母さん、坊はどうしやう、新田町驗

もう一度進やと優しく呼

た。米の酒化程に芽出度い發見

体を見てから物を申せ、それがし事は當國三田九鬼長門守の藩中にいたして、町奉行附年寄回心領内の宿々申す譯でもありませんが實はソノ、當所に參る途中病氣を介抱したのが緣で據所なく……』

『コレ〳〵左樣なことを承はらんでも宜しい、其の女をいづれに隱してあるか有体に申し立てゝ此處へ差し出せばよし、さなきに於ては兩人とも繩を打つて會所へ引立てるぞ』

『と、途方もない緣も由緒もない女を何しに匿し立いたしませう、先程ちよつと世話になつたお禮だといつて參つた切、何處へ行つたことやら其の後の事は一向に存じません、どうぞ外の部屋をお探しくださいませ』

『ハヽア彼の女が雪といふ名でございますか、同宿とうせ南無さんばう、たアすけたまへ、濟正公』

『左樣なことを申して此方を謀る所存か不屆者奴、コレ豊五郎、先づ此の二人から引括つてその上で家搜しをいたせ』

『オット合點だ』

虚呂つく目で室内を回看してゐた豊は、此の時いきなり飛蒐つて延公の頸首へ手をかけた。

『アヽモシ、お、お惜だ、勘忍してお呉んなせえ延公一生のお願ひ、許してくださりやア、貴君のお姿を畫像にかけて三度〳〵お供物を上げやすがな』

『喧ましいッ、千兩箱の中から生れた兄いだなんて御大層もねえことをぬかしやアがつた腹癒に、さアかうして遣るぞ』

『あッ、情ねえ〳〵家の鎮

袋を裏返しにして、爾も逆さまに袖へ手を透してゐるではないか』

『アッ爾か、道理で變だとら思つた、ヘイヘイ甚麽も有難うげす』

『何が有難い、お蔭さまで世話になつたお禮だといつて參つた切、何處へ行つたことやら其の後の事は一向に存じません、どうぞ外の部屋をお探しくださいませ』

『ハヽア彼の女が雪といふ名でございますか、同宿とうせ南無さんばう、たアすけたまへ、濟正公』

『ハヽア這麽所を盡せたら變想を盡して欠落を極めるだら

ラヂオ
…二十三日〔日曜〕…
仙台　JOHK
△前九、〇〇A　氣象
△九、一〇　榮養料理（馬鈴薯の味噌汁…主料理　煮豆…福料理）榮養研究所
△九、三〇B（子供の時間）童謡と管絃樂　山本篤子
△一〇、〇〇A　宗教講話（ヨーロッパ人は佛教をどう考へて居るか）友松丹諦
△一〇、四〇C　講演（菊花の觀賞と栽培に就てこの研究）鈴木樫二
△一一、一〇A　謡曲講座（謡の道しるべ）實演…櫻間金太郎　解説…池内信嘉
△正午　A　時報　氣象
△後〇、三〇A　ニュース　放送舞臺劇の午後
△〇、五〇A（嫁おどし谷）
△一、五〇　五、三〇A　運動競技六大學野球リーグ戰試合狀況…法政對明治第二回戰）
△一、四〇A（近江源氏先陣館）野球なき場合
△二、四〇A（武士の血）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇A（子供の時間）神話劇（天孫降臨）岸邊福雄…脚色　東京童話會々會員
△六、三〇　趣味講演（東北の紅葉に就て）阿部忠一
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇　清元（大玉川）春千代外
△七、五五B　和洋合奏（流行唄時代双六）北陽新地
△八、二〇　箏曲と尺八
△八、五〇A　義太夫（繪本太功記…尼ヶ崎の段）竹本素昇
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

cafe
食事と茶喫
奇界
番六四話電　隣南館樂聚

今般モダーンな新ポンテアク號のオープンが入車致しました。
自動車通の御方の最適車と存じます
是非御試乘を御願申上ます。セダンも御座います。
平二　尼子タクシー部
電六四〇番
主任　澤資之

安價で効果的な天然加里肥
最も適應する作物!!!
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
◇ナス類ではトマト、ナスの如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます。
天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壌を惡變する虞は絶對にありません。
一俵三十錢（大量取引は特に割引致します）
平町鎌田
製造販賣　金成國雅
電話六八八番

純毛シヤツ、セーター類特賣
もだんショールとネクタイ陳列
純良毛布特別廉價提供！
中野洋品店
平二・電五三

醫院開業
私儀明二十三日より左記の場所に於て診癒に從事致すべく候間御眷顧之程奉願上候也
平町字中田町七〇番地電話六九一
山内醫院
醫學士　山内亨吉
耳鼻咽喉科專門

毎度御ひいき
有難ふ御座ゐます。
うなぎ御用命は
うなぎ奴
平町田町（電話二二番）
ホール御座敷の設備あります。皆樣の御立寄を！

まむし粉藥の微妙なる靈能
肺、助膜、心藏、慢性胃腸病、神經衰弱、動脈硬化、不眠症、子宮、血の道、神經リウーマチス、便祕、精力減退の人
強精強壯滋養料トシテ御試シ下サイ驚ク程効メガアリマス。
平町五丁目二十二金光堂時計店裏
井内

大塚のサービス
◎野球用　最新形　グローブ　ミット（修繕無料）
◎庭球用　三二年形　ラケット
定價の一割引
運動會用　ランニング上着とパンツを…
平・田町　電話七十七番
大塚運動具店

恒久的と觀て大差ない
常磐炭昨今の需要增加
鐵道用の若干減少に反比例して
他方面へ供給愈々活氣づく

鐵道用炭の幾分減少に反しの增差は蓋し相當な數量に營業用が引續き增加の一途を辿り差引に於て依然前年の減少に拘らず尙は前記の同期を突破しつつ近來頓に活氣を呈し來つた常磐炭山元の去る十一日以降二十日迄に至る送炭量は

營業用三、五三三車　四三、八七〇噸　省用一、二一八車　一七、八三三噸　合計四、七五一車　六一、七〇三噸

で前年同期に比し今期營業用に於て九百二十二噸を增加してゐるので省用が四百九十三噸を減少してゐるも結局差引四百二十九噸の增加を示してゐるが而も前中旬を通じたる時營業用の增加は前年を凌ぐ事二千六百四十四噸に達し省用千六百七十噸の減少無くんば其處

○○○圓（村負擔半額）宮溜郡新設費五、五四一圓（大字宮負擔半額）充當

稻刈後に着手して
「更に延十萬人を使役」
待たるる地方の匡救事業

總工費五十五萬圓の匡救土木事業である平土木監督所管內夏井、入遠野、大浦三五十餘名に達し年度末の竣道路、橋梁、河川改修工事役するので成年六十錢、老目下縣の認可申請中で來月上旬稻刈終了と共に一齊に着工する運びとなつたが之待たれて居る

石炭液化
燃料界に革命

石城液化は化學的には可能なりしも工業的に採算不可能であつたところ海軍省の加してゐるので省用が四百九十三噸を減少してゐるも結局差引四百二十九噸の增加を示してゐるが而も前中旬を通じたる時營業用の增加は前年を凌ぐ事二千六百四十四噸に達し省用千六百七十噸の減少無くんば其處

土木事業のお蔭で
各農山漁村が甦る
從來の使役延十萬人突破

平土木監督所管內內郷村外八ヶ村の貧弱町村救濟道路改修工事は工費合計一萬七千七百圓で七月下旬來着工し今月下旬迄に何れも竣功する見込であるが起工以來二萬四千百餘名の勞働を使役した外六年度災害復旊工事である工費九萬圓の夏井川々河改修工事外四十二ヶ町村道路工事も今月下旬完成する大野村を除き此程所を通じ縣に反對陳情書を何れも竣功したが之れには提出した

村道新設
反對
鹿島村で縣へ陳情

鹿島村大字松久須根地內の村道新設工事により灌漑上一大ッ障を來す關係地主六十餘名が鈴木村長に反對陳情をなした旨は昨報の如く今二十二日更に平土木監督

着々實行に入る
內郷の土木事業
起債其他陣容整ふ

內郷村に於ては此程臨時村會を開き

一、時局匡救土木事業費起債の件。

起債金額一九、〇〇〇圓內一四、三〇〇圓國庫補助四、七〇〇圓村負擔

白水宮道路改修費八、七〇〇圓　白水川改修費一〇、三〇〇圓充當（三年據置十五ヶ年賦償還）

二、農業土木事業費起債の件。

起債金額八、五四一圓國庫及村に於て半額つゝ負擔、內御厩堰改修費三、

大倉精銳を網羅して
組野球團
あす入山へ
試合開始午後一時

入山炭鑛競技部が明二十三日の公休日をトし日立を迎へて陸上競技及庭球試合を行ふ外大倉野球團と壯快な一戰を交す旨既報の如くであるが大倉のメンバー次の如く元帝大遠藤、早稻田水原、慶應原田の强豪を網羅してゐる丈けに

ものがある

（合名）木玉
（同）木
（同）土
（同）同
（同）險
（同）保
（同）同
（同）同
（佐）々
（岩）本
（本）兒

投擲一二三左中遊右
（補）欠
（石）黑

來上藤島木田田原村崎
牛井遠西青前原水今野

晩秋を奮ひ起つ
磐中千餘の健兒
發火演習近づく

磐城中學校秋季發火演習は第一回は午前六時三十分二十八、九の兩日行はれる

の件を附議可決したが尙は既報の如く救民救濟の目的を以て豫算五千圓を計上し八月下旬より着手した第三小學校地上げ工事は其後着々竣工に近づき材料費其他を除き今日迄に二千百四十八圓餘を支出し其延人員三千百八十八名に達し男は一日六十錢乃至八十錢女は同四十錢の賃銀に當つてゐると

上り列車で植田、勿來驛に南北兩軍が下車錦、中迎、中田、泉村に於て遭遇、追撃の演習を開始し午後三時小學校地上げ工事は田部、南軍は泉渡邊、豈野附近に於て中止の上北軍は田部、南軍は泉に宿營、第二日は三年以下小學校に於て第一校に於て八圓餘を支出し其延人員三千百八十八名に達し男は一日六十錢乃至八十錢女は同四十錢の賃銀に當つてゐると

北海道拓殖實習生
縣下二十五名の內
本郡から三名採用

北海道廳では今回拓殖實習生が大体全部採用さるることを設け將來自作農となるべき思想健固な地方青年をあるが郡下關係は左記三名各府縣知事に依賴して募集の所本縣よりは二十五名の應募者があつた、これ等の應募者は審査の上採用され

錦村大島下山田健治、植田町石塚木田賢造、川部村小川芳賀熊次

青郡訓
發火演習
聯合發火演習

郡青年訓練所は來月十四、五の兩日磐崎村方面に於て實地研究を行はせ度い希望

上終了の豫定であると

の希望なる甚だ遺憾として導研究會は昨二十一日夜一部代表の快諾があつたので雇主の諒解を求め二十七日第一回を開く事になつた

濱三郡の組合が
斷乎縣營に反對
成り行きを刮目さるる
木炭生產檢查制度

木炭檢查縣移管反對の濱三郡は青森及本縣のみで之れが郡木炭同業組合期成同盟委員會は今二十二日午後一時から平各種團体事務所樓上に開き早川會長外委員數名は二十四日縣下同業組合長の陳情團と共に出縣陳情する事に決したが生產檢查の縣營は東北各縣に於てもの縣營に決し既に夫々實施せられ、殘

反對は些か時勢に相應せぬものの如く思推する向も少なし唯一の論據は事は勿論全然不可能ではな事業と觀

殆ど全部が融資希望
炭窯構築費に困む
濱三郡製炭業者の窮狀

濱三郡木炭同業組合では製炭業者救濟事業として縣から融通される窯構築費四分一の補助を仰ぐべく目下三千の製炭業者に就て調査中であるが九割以上の申込者

が殺到する模樣である

平商生實習
希望商店開拓中

平商校では來春卒業に對して實際的教育を施すべく奔走してゐるが町內商店から

友を刺し殺した
魚商に懲役八年
今日平支部の求刑

小名濱町古港魚行商月山嘉信（三二）が六月十四日午前二時頃內郷村高坂武田安廣（三二）を柔道の事から肉切庖丁で刺し殺した事件の公判は今二十二日午前十時から平支部に於て中島裁判長係り關口、竹內兩判事陪席、上田檢事關與、武田辯護士立會開廷裁判長の訊問に對し被告は口籠り勝ちで庖丁は保護の目的で持つたと前公判に於ける殺意の供述を翻したが檢事は

今日殺意の明答を避けるもその點を信用出來ないとて懲役八年を求刑した

年に似合はぬ出鱈目供述
家出の十五少年平署から歸さる

昨二十一日午後三時半頃平驛前を徘徊してゐる見すぼらしい男の子あるを平署員が取調べると右は安達郡二本松町横新道通り留太郎二男二瓶留次（五）で父が事業の失敗から一家六名で東京へ轉住すべく去月中旬頃郡山市に下車した折に父を見失ひ爾來人の情に縋つて來たが最近風の便りで父が平町方面に居る事が判明したので捜し廻つて居た處だと誠しやかに申述べたが不審の點あるので尙も問ひ詰めると右は眞赤な僞ひで無斷家出したが途方に窮して居たものと判り今後を注意して歸宅させた

女教員を脅して
現金提供を迫る
拒絕された上明るみへ

草野村大字下神谷字中田新開販賣業杉田鐵五郎（三三）は平第三小學校女教員土田みよ（二六）假名―が過般病氣の爲平町南町根本產科婦人科醫院に入院した事實を嗅ぎつけ右は男教員と通じて姓娠した爲墮胎したものであらうと言ひ掛りをつけ四十圓を提供せぬと新聞に掲載するからと脅しの手紙を送つた上同人に會見して同樣の要求をなしたが身に覺えが無いから勝手にしろ、と頑强につつ刎ねられた事其筋の探知する處となり昨二十一日夜檢擧せられ高橋警部補係りで嚴重取り調べ中である

平町新舊町
長歡送迎會

廿五日聚樂館で

青沼、伏見新舊町長歡送迎會は左記諸氏發起の下に廿五日午後一時から聚樂館で開くが會費五十錢であると井上消防組頭、橋本磐中校長、花澤町議、川角區長、多田井青年團長、曾我第一校長、中島判事、藤田在郷分會長、山崎商工會長、酒井助役

桑園改植
補助交附

本縣では此程桑園整理改植補助金を郡下左記養蠶組合に交附する指令を發送した（圓以下切捨）

一五圓宛組合代表（泉村）山崎藤太、鈴木長次郎、久保木萬次郎、七吉田友重、三六（植田町）高木藤松、三五小澤利一、二二赤塚初市、三四丹野太二馬、六三森藤次郎、七八古川鼎福、三九古和田齊三三（上遠野村）瀧瀨谷健藏、三三蛭田安平、三〇生田目瀧藏、三〇志賀久壽、四二瀨谷伊吉、三二吉田辰藏、三二井澤忠次三三生田目耕、三一永瀨庄八、二八石森清一、三二高崎亞太郎、二四渡邊才多、一一七（川部村）櫛田酉次郎、二一六芳賀義虎、四六田子兵馬、二二（豊間村）鈴木清利、三二永山喜作、三六（江名町）三六河野嘉藏、三六（玉川村）永山太次郎、一三二（好間村）金成淺治、五〇（大浦村）高橋嘉三郎、一八佐藤初次、五〇吉田久之進、一五高木鶴治、三三若松芳太郎、一六高崎義男、一六（平窪村）渡邊多吉、五七木田源吉、六六薬谷藤太郎、四四鈴木巾次郎、六四（川前村）根本菊太、五九佐藤末藏七二猪狩貪藏、九三矢內安藏、七〇根本久吉、六五松本孝太郎、五九大越長次、八六新妻文次郎

生柿出荷打合　神谷村農會の生柿出荷打合會は今二十二日午後一時から神谷農

女房腹切り
原因ヒス亢進
生命危篤に陷る

磐崎村下湯長谷小野田炭鑛坑夫運吉妻コイネ（三三）は去月二十日來性病で炭鑛病院に入院加療中昨廿一日午後三時頃剃刀で下腹部を搔き切り自殺を企て生命覺束ないと原因はヒステリーが亢進しての精神異狀

第一小學
入賞兒童
午前中の成績

平第一小學校では今二十二日午前八時から秋季運動會を開催し頗る盛會であつたが午前中の一等入賞兒童は左の如くである

5二百米　關口正秀、安齊光男、星野隆、山家博高、阿部幸助　1齊藤吾一郎、馬上勝司、伊關直治、高木定之助　高2四〇〇米佐藤福見、清水文吾　4二〇〇米菅本進、伊藤敏雄、片寄文夫、富岡敏雄　1紅白ボール、小齊敏夫、田村博、志賀武夫、安藤通、藤井喜一郎　6障碍物先崎清一、塚越義夫、綠川浩行、新妻良雄、矢代弘文　2旗毬取長谷川秀雄、田口行夫、折笠茂信、渡邊通、佐藤茂春　4二人三脚右色博、伊藤正光、青木肇長谷川敏　1七〇米因口清、新妻富義、中塚正敏小林茂、吉田敏夫　高1四〇〇米瀨戸利夫、寺田久、吉田武、谷口榮次、藤田博　3繩跳吉、勝行根本健三、五十嵐一美、鹽澤榮治、大澤義高　5二〇〇米國井茂次、青木秀夫、佐藤誠、佐川喜一黑井博助　6二〇〇米小林正久、久須義國道、森二郎、鈴木三郎、木田清一

御料理八千代
平町田町

旅先で衝突
飯野のトラック

飯野村上荒川大河原善秋が

トラックを運轉二十日午後三時頃茨城縣石岡町國分寺地內を進行中自轉車で來た同町貝司町眞家三之助（六三）と衝突胸部その他に全治二週間を要する重傷を負はせ同町松山醫師の手當を加へた

平町新舊町
長歡送迎會

廿五日聚樂館で

青沼、伏見新舊町長歡送迎會は左記諸氏發起の下に廿五日午後一時から聚樂館で開くが會費五十錢であると井上消防組頭、橋本磐中校長、花澤町議、川角區長、多田井青年團長、曾我第一校長、中島判事、藤田在郷分會長、山崎商工會長、酒井助役

桑園改植
補助交附

本縣では此程桑園整理改植補助金を郡下左記養蠶組合に交附する指令を發送した（圓以下切捨）

一五圓宛組合代表（泉村）山崎藤太、鈴木長次郎、久保木萬次郎、七吉田友重、三六（植田町）高木藤松、三五小澤利一、二二赤塚初市、三四丹野太二馬、六三森藤次郎、七八古川鼎福、三九古和田齊三三（上遠野村）瀧瀨谷健藏、三三蛭田安平、三〇生田目瀧藏、三〇志賀久壽、四二瀨谷伊吉、三二吉田辰藏、三二井澤忠次三三生田目耕、三一永瀨庄八、二八石森清一、三二高崎亞太郎、二四渡邊才多、一一七（川部村）櫛田酉次郎、二一六芳賀義虎、四六田子兵馬、二二（豊間村）鈴木清利、三二永山喜作、三六（江名町）三六河野嘉藏、三六（玉川村）永山太次郎、一三二（好間村）金成淺治、五〇（大浦村）高橋嘉三郎、一八佐藤初次、五〇吉田久之進、一五高木鶴治、三三若松芳太郎、一六高崎義男、一六（平窪村）渡邊多吉、五七木田源吉、六六薬谷藤太郎、四四鈴木巾次郎、六四（川前村）根本菊太、五九佐藤末藏七二猪狩貪藏、九三矢內安藏、七〇根本久吉、六五松本孝太郎、五九大越長次、八六新妻文次郎

生柿出荷打合　神谷村農會の生柿出荷打合會は今二十二日午後一時から神谷農

女房腹切り
原因ヒス亢進
生命危篤に陷る

磐崎村下湯長谷小野田炭鑛坑夫運吉妻コイネ（三三）は去月二十日來性病で炭鑛病院に入院加療中昨廿一日午後三時頃剃刀で下腹部を搔き切り自殺を企て生命覺束ないと原因はヒステリーが亢進しての精神異狀

第一小學
入賞兒童
午前中の成績

平第一小學校では今二十二日午前八時から秋季運動會を開催し頗る盛會であつた午前中の一等入賞兒童は左の如くである

5二百米　關口正秀、安齊光男、星野隆、山家博高、阿部幸助　1齊藤吾一郎、馬上勝司、伊關直治、高木定之助　高2四〇〇米佐藤福見、清水文吾　4二〇〇米菅本進、伊藤敏雄、片寄文夫、富岡敏雄　1紅白ボール、小齊敏夫、田村博、志賀武夫、安藤通、藤井喜一郎　6障碍物先崎清一、塚越義夫、綠川浩行、新妻良雄、矢代弘文　2旗毬取長谷川秀雄、田口行夫、折笠茂信、渡邊通、佐藤茂春　4二人三脚右色博、伊藤正光、青木肇長谷川敏　1七〇米因口清、新妻富義、中塚正敏小林茂、吉田敏夫　高1四〇〇米瀨戸利夫、寺田久、吉田武、谷口榮次、藤田博　3繩跳吉、勝行根本健三、五十嵐一美、鹽澤榮治、大澤義高　5二〇〇米國井茂次、青木秀夫、佐藤誠、佐川喜一黑井博助　6二〇〇米小林正久、久須義國道、森二郎、鈴木三郎、木田清一

旅先で衝突
飯野のトラック

飯野村上荒川大河原善秋が

トラックを運轉二十日午後三時頃茨城縣石岡町國分寺地內を進行中自轉車で來た同町貝司町眞家三之助（六三）と衝突胸部その他に全治二週間を要する重傷を負はせ同町松山醫師の手當を加へた

平町新舊町
長歡送迎會

廿五日聚樂館で

青沼、伏見新舊町長歡送迎會は左記諸氏發起の下に廿五日午後一時から聚樂館で開くが會費五十錢であると井上消防組頭、橋本磐中校長、花澤町議、川角區長、多田井青年團長、曾我第一校長、中島判事、藤田在郷分會長、山崎商工會長、酒井助役

桑園改植
補助交附

本縣では此程桑園整理改植補助金を郡下左記養蠶組合に交附する指令を發送した（圓以下切捨）

一五圓宛組合代表（泉村）山崎藤太、鈴木長次郎、久保木萬次郎、七吉田友重、三六（植田町）高木藤松、三五小澤利一、二二赤塚初市、三四丹野太二馬、六三森藤次郎、七八古川鼎福、三九古和田齊三三（上遠野村）瀧瀨谷健藏、三三蛭田安平、三〇生田目瀧藏、三〇志賀久壽、四二瀨谷伊吉、三二吉田辰藏、三二井澤忠次三三生田目耕、三一永瀨庄八、二八石森清一、三二高崎亞太郎、二四渡邊才多、一一七（川部村）櫛田酉次郎、二一六芳賀義虎、四六田子兵馬、二二（豊間村）鈴木清利、三二永山喜作、三六（江名町）三六河野嘉藏、三六（玉川村）永山太次郎、一三二（好間村）金成淺治、五〇（大浦村）高橋嘉三郎、一八佐藤初次、五〇吉田久之進、一五高木鶴治、三三若松芳太郎、一六高崎義男、一六（平窪村）渡邊多吉、五七木田源吉、六六薬谷藤太郎、四四鈴木巾次郎、六四（川前村）根本菊太、五九佐藤末藏七二猪狩貪藏、九三矢內安藏、七〇根本久吉、六五松本孝太郎、五九大越長次、八六新妻文次郎

生柿出荷打合　神谷村農會の生柿出荷打合會は今二

滿洲行
藤田中尉
（第一百一信）

◇西大橋河畔の刑場（續）

◇兩氏の國士的活躍と凛乎たるその態度憲に對しては彼此相對照して聊か感謝の念を表せざるを得なかつたのである。

（六月十一日午後四時チチハル西大橋河畔にて）

。。。